

# 株式会社京都産業振興センター

## 第1 法人の概要

### 1 代表者

代表取締役社長 波部美利

### 2 所在地

京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1

### 3 電話番号

075-762-2633

### 4 ホームページアドレス

<http://www.miyakomesse.jp/> (京都市勸業館)

<http://www.kyotokan.jp/> (京都館)

### 5 設立年月日

平成5年4月27日

### 6 資本金

90,000千円 (うち本市出資額 54,000千円, 出資率 60.0%)

### 7 事業目的

京都市勸業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営, 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致ほか

### 8 業務内容

(1) 京都市勸業館 (美術工芸ギャラリー含む。) の管理運営

(2) 京都伝統産業ふれあい館の管理 (公益財団法人京都伝統産業交流センターとの連携による。)

(3) 展示会, 見本市等の企画開催及び誘致

(4) 京都館の管理運営

### 9 所管部局

産業観光局産業戦略部産業総務課 (TEL075-222-3333)

### 10 役員名等

(1) 取締役会長

上田誠 (産業観光局長)

(2) 代表取締役社長

波部美利

(3) 取締役

近藤健司, 奥原恒興, 渡邊隆夫, 林史己, 大同一生, 坂本勝,

武田淳 (産業観光局産業戦略部長)

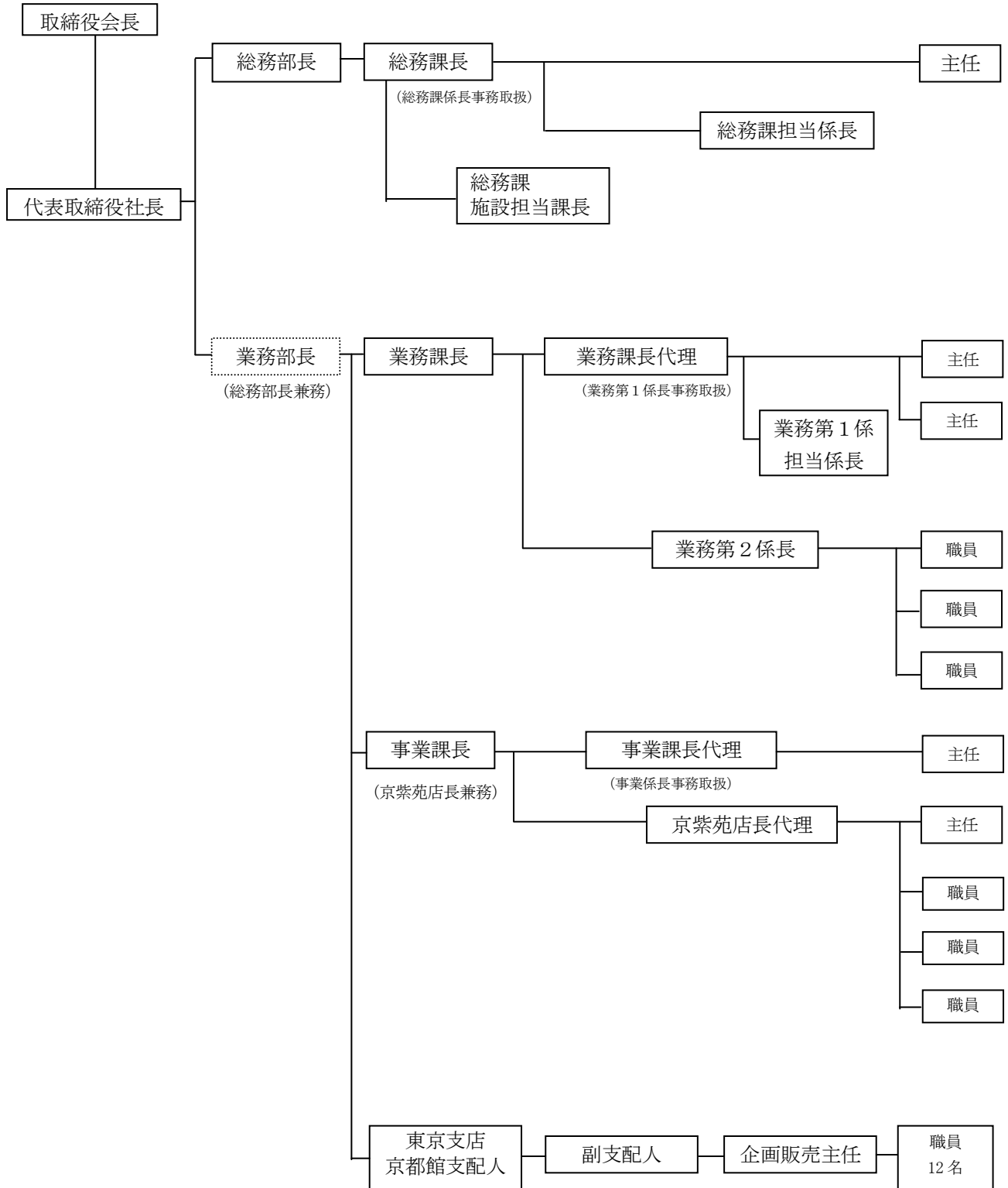
(4) 監査役

外村弘樹, 川越とし子

### 11 常勤職員数

37人 (うち本市派遣職員0人)

12 組織機構



## 第2 経営状況

### 1 平成28年度決算

#### (1) 事業報告

##### ア 京都市勸業館の指定管理

###### (ア) 展示場の利用状況

面積稼働率 53.66%, 利用件数 577件

###### (イ) 会議室の利用状況

稼働率 43.22%

##### イ 京都市伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ「京紫苑」の運営

ミュージアムショップ「京紫苑」商品売上 50,455千円(消費税等除く。)

(参考) 京都市伝統産業ふれあい館の入館者数 167,953人

##### ウ 美術工芸ギャラリー(勸業館内)の運営

稼働延べ日数 456日(456日/716日), 稼働率 63.68%

##### エ 京都館の管理運営(受託事業)

###### (ア) 来館者数 254,690人

###### (イ) 情報コーナー利用者数 104,083人

###### (ウ) 物販売上 148,090千円(消費税等除く。)

#### (2) 財務諸表

#### 貸借対照表

平成29年3月31日現在

(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[717,124]	流動負債	[222,984]
現金及び預金	692,206	買掛金	18,459
売掛金	1,503	未払金	89,648
商品	5,212	未払消費税等	10,620
未収入金	18,083	未払法人税等	14,117
前払金	140	前受金	88,394
前払費用	62	預り金	1,745
貸倒引当金	△82	固定負債	[22,406]
固定資産	[26,846]	退職給付引当金	19,406
(有形固定資産)	(26,461)	預り保証金	3,000
建物	12,870	負債合計	245,390
器具・備品	10,190	純資産の部	
その他の有形固定資産	3,402	株主資本	[498,580]
(無形固定資産)	(381)	資本金	(90,000)
電話加入権	381	利益剰余金	(408,580)
(投資その他の資産)	(4)	付帯設備改善積立金	40,000
出資金	4	別途積立金	250,000
		繰越利益剰余金	118,580
		純資産合計	498,580
資産合計	743,970	負債及び純資産合計	743,970

損益計算書  
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
<b>【経常損益の部】</b>		
(営業損益の部)		
売上高		937,683
売上原価		351,157
売上総利益		586,526
販売費及び一般管理費		530,606
営業利益		55,920
(営業外損益の部)		
営業外収益		
受取利息及び配当金	981	
その他	5,007	5,988
営業外費用		
その他	307	307
経常利益		61,601
<b>【特別損益の部】</b>		
特別利益		0
特別損失		9,031
税引前当期純利益		52,570
法人税，住民税及び事業税	18,207	
法人税等調整額	0	18,207
当期純利益		34,363

株主資本等変動計算書  
平成28年4月1日～平成29年3月31日

(単位：千円)

	株主資本						株主資本 合計	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金					
			20周年記念事業積立金	付帯設備改善積立金	別途積立金	繰越利益剰余金		
前期末残高	90,000	—	8,000	40,000	240,000	86,217	464,217	464,217
当期変動額								
積立金の積立					10,000	△10,000	0	0
積立金の取崩			△8,000			8,000	0	0
当期純利益						34,363	34,363	34,363
当期変動額合計	—	—	△8,000	—	10,000	32,363	34,363	34,363
当期末残高	90,000	—	0	40,000	250,000	118,580	498,580	498,580

## 2 平成 29 年度事業計画及び予算

### (1) 経営指標

#### ア 勸業館

- (ア) 展示場 年間面積稼働率 52.5%以上
- (イ) 会議室 年間区分稼働率 43.0%以上
- (ウ) 美術工芸ギャラリー 年間区分稼働率 62.0%以上

#### イ ミュージアムショップ京紫苑

年間売上額 5,100 万円以上

#### ウ 京都館

年間売上額 14,600 万円以上

#### エ 京都市への納付額

年間 18,500 万円

### (2) 事業計画

#### ア 利用率向上策

従来からの、エリアに応じた営業活動を充実させるとともに、平成 32 年の東京オリンピック・パラリンピックを見据えて首都圏営業を強化する。

##### (ア) 首都圏での商談会・展示会への参加

###### a 第 27 回国際ミーティングエキスポ (IME2017)

平成 29 年 12 月開催予定

###### b ライブ・エンターテイメント EXPO

平成 29 年 5 月 31 日～6 月 2 日 (於 ; 幕張メッセ)

##### (イ) 長期滞在型営業

営業担当が 1～2 週間首都圏に滞在したまま集中的に営業を行う。

##### (ウ) 首都圏での広告ポスターの掲出

医学系大学や学会事務局が多い本郷や御茶ノ水等で広告を掲出する。

平成 29 年度の新規大型利用予定

- ・ 第 90 回日本内分泌学会 (4 月, ロームシアター併用)
- ・ 第 33 回日本 DDS 学会 (7 月)
- ・ 第 48 回日本膵臓学会 (7 月)
- ・ 第 49 回全国公立小中学校事務研究大会 (8 月, ロームシアター併用)
- ・ 第 3 回京アニ&Do ファン感謝イベント (10 月)
- ・ 第 60 回建築士会全国大会 (12 月, ロームシアター併用)

#### イ イベントサポート・サービス事業

単なる貸館業務だけでなく、施設利用者の多様なニーズに対応するため、当社社員が設営、ケータリング及び安全対策等の催事運営についての企画・提案を行い、イベント等の魅力を最大限に引き出せるよう、きめ細かなサポート・サービスの提供を行っていく。

#### ウ 美術工芸ギャラリー事業

良好な施設環境と廉価な使用料であることを広く周知し、更に多くの方に利用されるよう努める。また、使っていただき易いように割引制度を継続し、岡崎からの芸術文化発信拠点となるよう努める。

#### エ レストラン事業

春秋にはレストラン北側の広場でオープンカフェを実施するとともに、トワイライトステージでは屋台を出してイベントを盛り上げる。

また、増加する観光客を取り込むために、季節感のある料理の提供やメニューの改善を進める。

#### オ ミュージアムショップ京紫苑

買上額の 2 割を超える (28 年度) 外国人観光客に向けた商品展示、商品開拓を行い商機を逃

さないようにする。

また、タクシーなど観光関連事業と連携したPRを実施し、国内外からの来店客の増加を図り、売上の向上に努める。

### (3) 自主事業

#### ア 京ものフェスティバル

「京都市伝統産業の日」に合わせ、伝統工芸品の展示や、京都の老舗が多数出店する物産展を開催（平成30年3月実施）。

#### イ みよこめっせ「経済産業講演会」

地下1階の特別展示場において、ジャーナリストの長谷川幸洋氏の講演会を開催（定員300名、平成29年6月30日実施）。

#### ウ みよこめっせウェルカムプラン

修学旅行生等を対象とした伝統工芸品の製作体験。旅行会社の協力を得て実施する。

#### エ 中小企業対象ビジネスマッチング

関係団体へのアプローチを含め、実施への検討を進める。

#### オ 桜まつり

春らしい茶菓と音楽を提供し、地元の方や観光客に春のひと時を楽しんでいただく（平成29年4月9日実施）。

#### カ かがやきめっせ

京都岡崎魅力づくり推進協議会が毎年秋に開催する「岡崎ときあかり」に合わせ実施する。みよこめっせのライトアップと、秋に相応しいコンサートの開催により、岡崎の活性化に尽力する（平成29年9月実施）。

#### キ トワイライトステージ

みよこめっせ中央広場において、春秋の夕方に若手ミュージシャンやパフォーマーのライブを実施し（月2回程度）、二条通の賑わいづくりに貢献する。

#### ク ウィンターイルミネーション

みよこめっせの建物や前庭にイルミネーションを設置し、二条通の賑わいづくりをする（平成29年12月～翌30年2月）。

#### ケ わくわく電車王国

平成26年度から始め、親子を中心に多くの方々にお越しいただき好評を博してきた。昨年度は入場者減になったが、今年度も計画内容を見直して実施する。期間は会場となる第2展示場の一般利用が無い8月の10日間程度とする。

入場者目標（全期間） 16,000人

### (4) 京都館

京都市のアンテナショップとして平成11年に設置され、平成18年に現在の八重洲に移転した。

当社は開設以来今日まで京都市から運営を委託され事業を行うとともに、自主事業として京都の伝統工芸品の販売を行っている。今年度も引き続き京都館の運営を行う。

#### ア 委託事業

##### (ア) 観光案内

地元から観光資料や京都市の刊行物を収集するとともに、窓口を開設してお客様に観光案内を行う。

##### (イ) 伝統工芸品の展示

「ふれあい館」の収蔵品（京都の伝統工芸品）を展示・紹介する。

##### (ウ) その他事業

春の観光キャンペーン、京都創生事業（歩くまち京都 in TOKYO）への協力、新商品紹介事業、京都講座の開設等

#### イ 自主事業

京都の様々な伝統工芸品や京菓子、日本酒等食品の販売。店内の販売に加え、地元や企業のイ

ベント等へ出張販売を行い、売上の向上を目指す。

今年度売上目標 14,600 万円

(5) その他の取組

ア 社員研修

社員の意欲，能力の向上を目指して社員研修を計画的に進める。

(ア) 全体研修（語学研修・教養研修）

(イ) 管理監督者研修

(ウ) 業務研修

(エ) 自己研修

(オ) 業績評価シートによる評価制度の導入

イ 第三者機関による経営評価の実施

外部の第三者専門家の意見を経営に反映するため経営評価委員会を設置しており，平成 29 年度も同委員会を 2 回開催する予定。

(6) 予算

予定損益計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額	
<b>【経常損益の部】</b>		
(営業損益の部)		
売上高		883,500
売上原価		344,600
売上総利益		538,900
販売費及び一般管理費		524,800
営業利益		14,100
(営業外損益の部)		
営業外収益		6,200
営業外費用		300
経常利益		20,000
<b>【特別損益の部】</b>		
特別利益		0
特別損失		0
税引前当期純利益		20,000
法人税，住民税及び事業税		0
法人税等調整額		0
当期純利益		20,000

(参考1) 財務状況の推移

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
損益計算書	売上高	840,483	851,518	937,683	883,500
	経常利益	38,467	25,807	61,601	20,000
	当期利益	25,463	17,626	34,363	
	減価償却前利益	30,715	22,749	39,932	
貸借対照表	総資産	670,118	659,179	743,969	
	総負債	223,528	194,962	245,389	
	純資産	446,590	464,217	498,580	

(参考2) 京都市からの補助金等

(単位：千円)

		H26 (決算)	H27 (決算)	H28 (決算)	H29 (予算)
委託料	「京都館」管理運営	52,900	54,630	54,630	

第3 経営評価結果

1 所管局による経営状況の全般評価

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>開館 20 周年記念事業の実施などの特別損失や施設の修繕等が増加したものの、損益面では平成 27 年度を上回る黒字を計上しており、また、好調な経営実績のもと、開館 20 周年を記念して会社設立以来初となる株主配当を実施して会社の魅力向上に努めるなど、経営努力に対しては大いに評価できる。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民向けの開館 20 周年記念講演会や自主企画事業の実施、大型の学術会議の招致成功、京都伝統産業ふれあい館ミュージアムショップ「京紫苑」での免税売上金額の増加など、年間を通して京都市勸業館における事業が好調に推移したことから、稼働率は 53.66%、来館者数は 135 万人と近年で最高の成績を残しており、産業振興に大きな役割を果たしたと評価できる。</li> </ul>

2 外郭団体総合調整会議による評価コメント

財務面	<ul style="list-style-type: none"> <li>安定して黒字を計上しており、財務的に問題はない。今後も健全な経営を続けてほしい。</li> </ul>
事業面	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設稼働率が向上するなど、積極的な営業の成果が出てきている。引き続き、顧客の獲得に向けた取組を継続してほしい。</li> </ul>